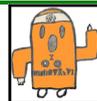




【目指す児童像】
考える子 健康な子
親切な子 がんばる子

いずみ

2024.11.8
ひたちなか市立
中根小学校
学校だより No.13



児童数（1年生:52名 2年生:57名 3年生:44名 4年生:54名 5年生:62名 6年生:42名） 計311名

4年遠足

10月9日(水)に4年生は遠足で大子町に行ってきました。この遠足は、「『わたしたちの茨城県』の学習に興味をもち、実際に大子町を見聞し、学習に役立てる。」「集団行動を通して、友達と共通の体験をすることによりよりよい人間関係を築く。」「公共の場所での行動のしかたやマナーを知り、実践する。」をねらいとして実施しました。まず始めに向かったのは、「袋田の滝」です。前日からの雨で水量が増していたので、迫力のある滝を間近に見て子供達は大喜びでした。次は、「奥久慈憩いの森」で、竹とんぼ作りとお弁当タイムです。雨が降っていたので、完成した竹とんぼを外で飛ばすことはできませんでしたが、みんな大事そうにリュックにしまっていました。最後は、「黒田りんご園」でのりんご狩りです。「おいしそうなりんごか採れたよ。」「お家の人と食べるのが楽しみ。」などの声が聞こえました。雨の降る中での遠足となってしまいましたが、友達と協力したり助け合ったりしながら楽しく活動することができました。



1年遠足

10月22日(火)に1年生はアクアワールド茨城県大洗水族館に遠足に行ってきました。この遠足は、「集団行動やグループ活動を通して、きまりを守ったり協力しあったりすることの大切さを理解する」ことをねらいとしています。午前中は、アシカ・イルカショーを見ました。児童は飼育員とアシカやイルカとの息のあった演技に驚いている様子でした。午後は、バックヤード見学を行い、水槽を上から覗いたり、生き物の飼育のしかたについて職員から話を聞いたりすることができました。その後のグループ活動では、自分たちが詳しく調べたい生き物について、よく観察し、気付いたことをワークシートにたくさん書き込んでいました。児童のたくさんの笑顔を見ることができた1日でした。



避難訓練(原子力災害対応)

10月25日(金)に原子力災害対応の避難訓練を行いました。この避難訓練は、「原子力災害発生時における危険の認識、避難訓練等を通して自らの安全を確保できる。」「自他の生命を尊重し、落ち着いた態度で避難訓練ができる。」「教室内外で身近に担任不在の場合でも、自らの安全を確保しながら避難する方法を体得する。」ことをねらいとしています。訓練は大きな地震が発生した後に、近隣の原子力施設から放射性物質が飛散したという想定で行われました。「身近に担任が不在の場合」という状況下をつくるため、児童がさまざまな場所で過ごしている昼休みに訓練を行いました。地震発生時の訓練では、屋内では主に机の下に身を隠す、屋外では落下物を避けるためにグラウンドの中央付近でしゃがんで待つ、などの行動を速やかに行うことができました。その後、放射性物質から身を守るため、全員速やかにクラスへ屋内退避を行いました。訓練後、原子力機構核燃料サイクル工学研究所「スイートポテト」の先生方から、放射線・原子力に関する講話をいただきました。



立派なさつまいもを収穫しました

10月16日(水)に、さつまいもの栽培を教えていただいている先生と、ときわ会のボランティアの方々のご指導のもと、「いもほり会」を実施しました。この活動は、「全校児童でさつまいもを育てるといふ勤労生産的な活動を通して、勤労の貴さや生産することの喜びを体得すること。」「地域の方々や異学年との交流を図ること。」をねらいとして行いました。「いもほり会はじめの会」を、3年生がオンラインで行い、その後、学年ごとにいもほりを実施しました。昨年度大雨の影響で畑の土が硬くなってしまったことを受け、今年度は、畑の周りに排水を促進させる仕組みをつくってくださったため、ほかほかした柔らかい土の中から、いもを掘り起こすことができました。掘り起こすたびに児童の大きな歓声があがりました。土だらけになりながらも「今から焼きいもにするのがとても楽しみ!」と満面の笑みで話してくれた児童の顔が忘れられません。

